

令和5年度 長岡市一般廃棄物処理実施計画の実績

1 令和5年度の取組（令和5年度 長岡市一般廃棄物処理実施計画 一部抜粋）

（1）排出抑制

ア 家庭ごみの一部有料化

燃やすごみ、燃やさないごみ、生ごみは指定袋で、粗大ごみは処理券シールの貼付により有料収集し、分別の徹底を推進。

イ 家庭用生ごみ処理器（堆肥化容器）の購入費補助

生ごみを堆肥化する容器の購入費を補助し、家庭での生ごみの減量と資源化を支援。

ウ 生ごみの水切りの励行

生ごみは水分を多く含むことから、水切りの徹底を広報誌や市政出前講座などで周知。

エ 枝葉・草の自家処理の励行

枝葉・草は、身近な大地への還元を広報誌や市政出前講座などで周知。

オ 事業所ごみの減量化の促進

事業用大規模建築物の所有者が提出する減量計画書等により処理状況を把握。排出者責任を明確にするため、事業所用指定袋への事業所名の記載を徹底。

カ マイバック運動等の推進

プラスチックごみの排出を抑制し、資源として生かすため、広報誌で啓発。ごみ減量・リサイクル協力店をPR。

キ 食品ロス

家庭から排出された燃やすごみと生ごみに含まれる食品ロス量を調査。

食品ロス削減推進計画を策定。

広報誌やアオーレ大型ビジョンなどを利用し、食品ロス削減推進を啓発。

（2）再使用・再資源化

ア 生ごみを、生ごみバイオガス発電センターで有効活用

生ごみは、生ごみバイオガス発電センターで発酵・分解し、発生するバイオガスを発電等に利用。

残りかす（発行残さ）についても、「肥料」としての利用を市内農業高校及びあぐらって長岡の協力のもと、肥料効果や土壌への影響についての実証実験を行い、「生ごみ」というバイオマス資源を市内で完全循環させるための取組を開始。

イ 枝葉・草の資源化の推進

収集した枝葉・草は、培養土・有機肥料の原料のほか、発電用燃料化。

ウ 資源回収奨励金交付事業の実施

古紙類や金属類を集団回収した子供会等に、資源回収奨励金を交付し、資源化を推進。

エ 資源物の拠点回収の実施

常設拠点と山古志、小国、与板、川口地域にサテライト拠点を設置し、リユースび

ん、古着・古布、食器類、小型家電、びん・缶・ペットボトル、古紙類（新聞、雑誌・チラシ、段ボール）、使用済み天ぷら油、靴、かばん・ベルト、ミックスペーパーの排出の機会を増やし、ごみの減量と資源化を推進。

2 計画収集及び直接搬入

区分		収集運搬実績			
		収集 主体	収集方式	収集 回数	収集量
ごみ	燃やすごみ (うち生ごみの発酵不適物)	委託	ステーション方式	週 1 回	47,893 t (3,311t)
		許可	戸別	随時	
		排出 者	—		
	生ごみ	委託	ステーション方式	週 2 回	8,673 t
		許可	戸別	随時	
		排出 者	—		
	燃やさないごみ	委託	ステーション方式	月 2 回	3,926 t
		排出 者	—	随時	
	粗大ごみ	委託	各戸	随時	1,271 t
		排出 者			
資源物	びん・缶・ペットボトル	委託	ステーション方式	週 1 回	3,443 t
	プラスチック容器包装材	委託	ステーション方式	週 1 回	3,527 t
	古紙	委託	ステーション方式	月 2 回	5,323 t
	枝葉・草	委託	ステーション方式	週 1 回	4,358 t
				月 2 回	
		拠点回収方式	指定日		
	古着・古布	委託	ステーション方式	月 2 回	206 t
有害危険物	委託	ステーション方式	月 2 回	89 t	

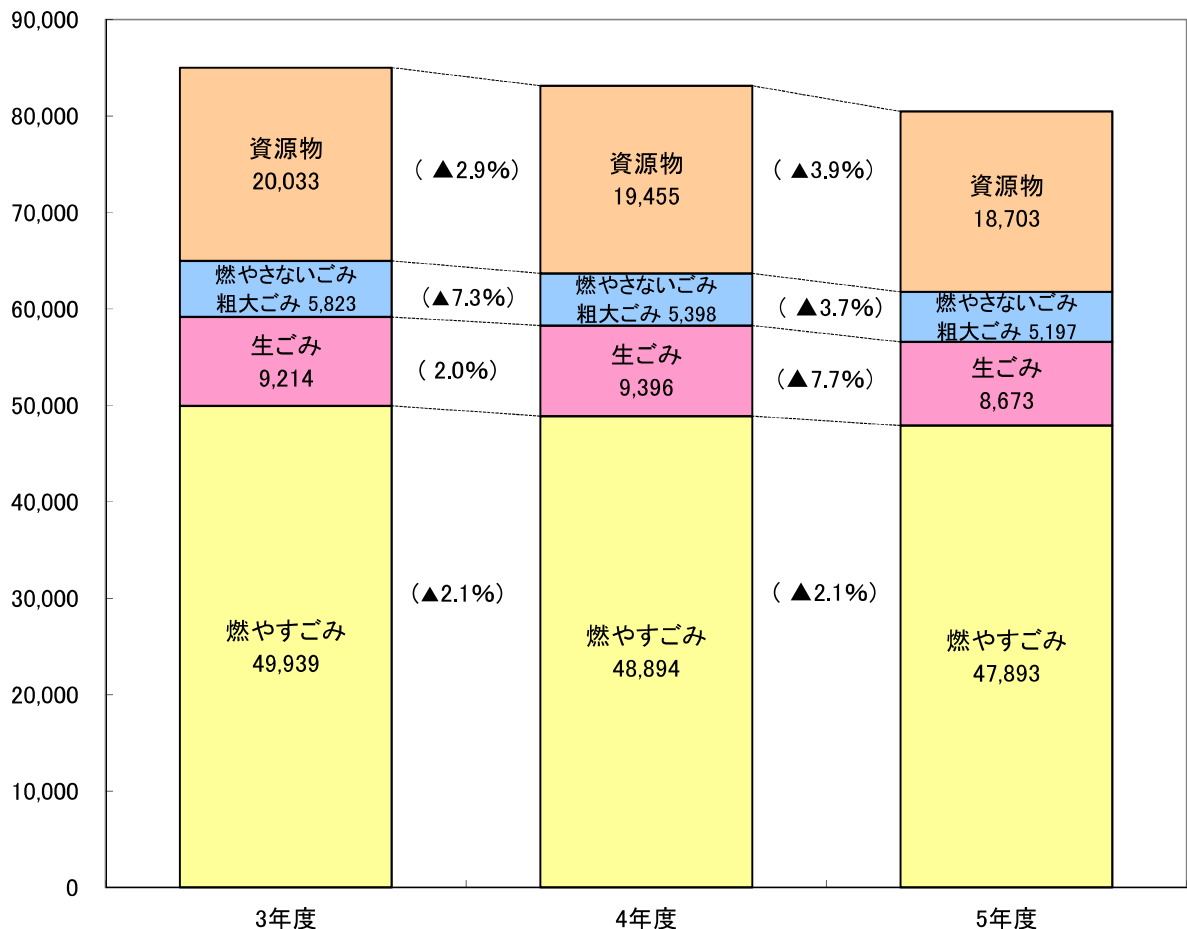
ごみと資源物の排出状況
(集団回収分を含む)

(単位:トン)

区分	3年度	4年度	5年度
燃 や す ご み	49,939	48,894	47,893
生 ご み	9,214	9,396	8,673
燃 や さ な い ご み 粗 大 ご み	5,823	5,398	5,197
資 源 物	20,033	19,455	18,703
(行政回収・拠点回収)	18,572	18,111	17,456
(集団回収)	1,461	1,344	1,247
計	85,009	83,143	80,466
対 前 年 比 (%)	▲ 0.3	▲ 2.2	▲ 3.2
参 考 : リ サ イ ク ル 率	24.2%	24.3%	23.6%

令和3年～令和5年度のごみと資源物の排出状況

(単位:トン)



※()は前年度比